

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	鶴見区
学 校 名	大阪市立茨田南小学校
学校長名	宇野 多加志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・茨田南小学校では、第6学年 76名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の全国学力・学習状況調査の本校の平均正答率は、国語科においては全国平均を2.2ポイント、大阪市平均を2ポイント下回った。内容別に見ると「読むこと」においては大阪市平均とほぼ同値であったが、他の項目では1~2ポイント大阪市平均を下回っており、「書くこと」においては大きく下回っている。設問数の少なさも影響していると考えられるが課題としてあげられる。算数科においては全国平均を3.5ポイント、大阪市平均を3ポイント下回った。大阪市の正答率は昨年とほぼ同値であるのに比べ、本校比は昨年度より1ポイント下回る結果に終わった。内容別でもすべての項目で大阪市平均より3ポイント程度下回った。算数科における課題であった無回答率は本年度は全国平均および大阪市平均を下回ることができた。国語科でも昨年度に継いで全国平均を大きく下回ることができている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 平成元年度から研究主題を「主体的・対話的で深い学びの追求」に設定し取り組んできた。コロナ禍での学習活動の制限を経て、I C Tの活用を推進しながら国語科においては成果をあげてきている。大阪市・全国平均を大きく下回った「書くこと」の領域を最重要課題として継続して授業改善に取り組んでいく。

〔算数〕 一昨年、昨年と全国平均、大阪市平均との差は縮まっていたが、本年度は横ばい状態であった。ただ昨年度の課題であった「データの活用」領域では大きく差を縮めており、I C T活用の成果があがっていると思われる。自主学習のさらなる推進を図りながら、基礎学力の定着、充実のための授業改善に継続して取り組んでいく。

質問紙調査より

「国語の勉強は好きだ」の質問に最も肯定的な回答をした児童の割合は28.4%で、昨年の値(21.5%)を上回っているが、「算数の勉強は好きだ」の質問への最も肯定的な回答率は29.6%で、昨年度調査の41.5%を大きく下回った。これが教科に関する調査の結果に反映されている。今年度の大きな課題である。「英語の勉強は好きだ」の質問には、肯定的な回答は74.1%で、全国平均(69.3)、大阪市平均(71.2)を上回ることができた。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の問い合わせに対する肯定的な回答は、今年度は95.1%であった。昨年度の課題であった項目であるが、昨年度の値(93.8%)を上回ることができた。最も肯定的な回答も81.5%であり、昨年度(73.8%)を大きく上回った。取組の成果が徐々に表れてきているといえる。「朝食を毎日食べている」の質問に対する最も肯定的な回答率は75.3%であり昨年(70.8%)を上回ったが、全国・大阪市の平均値には届かなかった。今後継続しての取り組みが必要である。

今後の取組(アクションプラン)

漢字や計算等の基礎学力の定着を図るため、数年前より全学年でモジュールタイムを設け、計画的に継続・実施してきた。今後は、高学年においてはある程度教科を絞り集中的に実施していく必要がある。児童にはある程度P Cを利用した学習が定着しており、利用率も向上していることから、課題解決のために「わかる授業」「楽しい授業」を研究の主題に加え、授業研究、授業改善に早急に取り組んでいく。また大阪市経年調査に向けて、振り返りプリント等を利用しての高学年の学力向上のため、算数科・国語科での研究授業を実施し、継続して授業研究・実践に取り組んでいく。

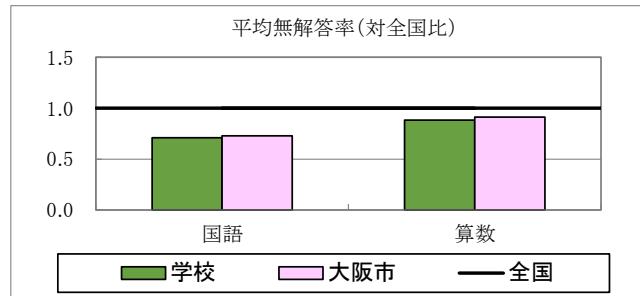
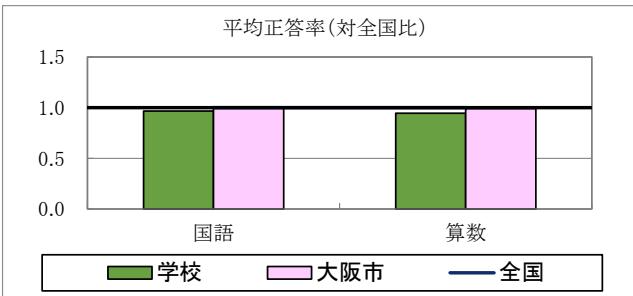
【 全体の概要 】

平均正答率(%)

	国語	算数
学校	65	59
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

平均無解答率(%)

	国語	算数
学校	3.4	3.0
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4



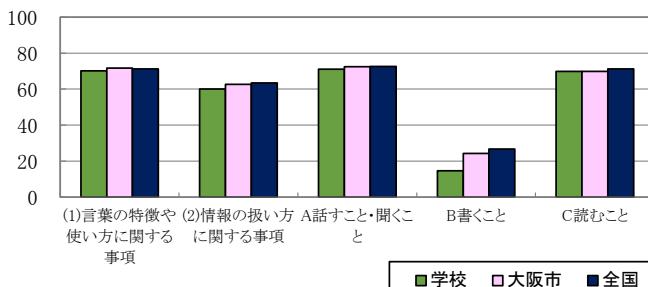
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	70.1	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に関する事項	2	60.0	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	71.1	72.4	72.6
B 書くこと	1	14.7	24.2	26.7
C 読むこと	3	69.8	69.9	71.2

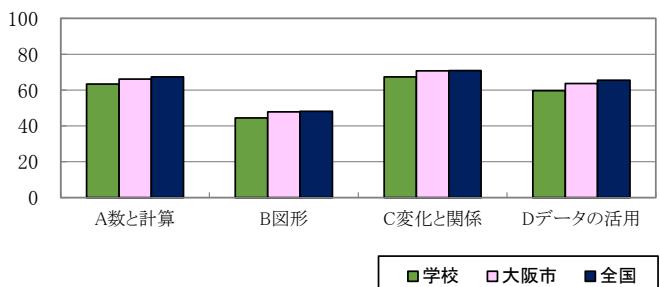
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	63.4	66.1	67.3
B 図形	4	44.4	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	67.4	70.8	70.9
D データの活用	3	59.6	63.6	65.5

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



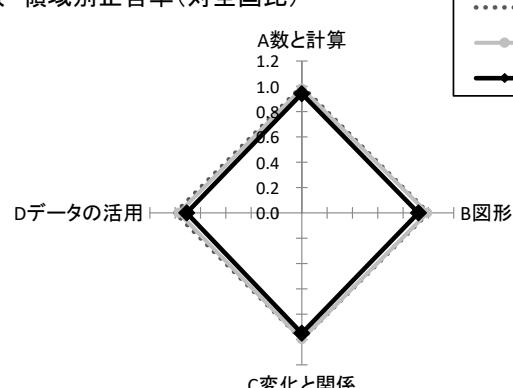
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



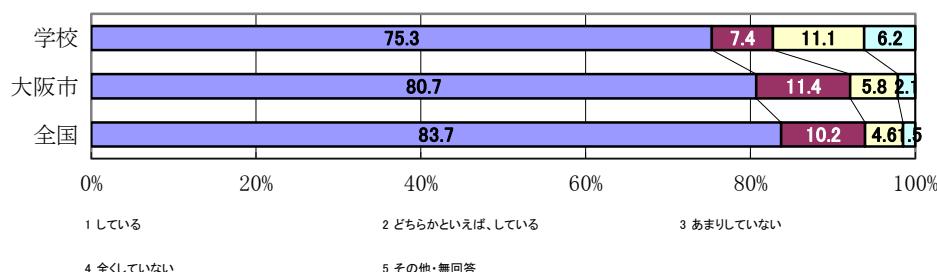
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

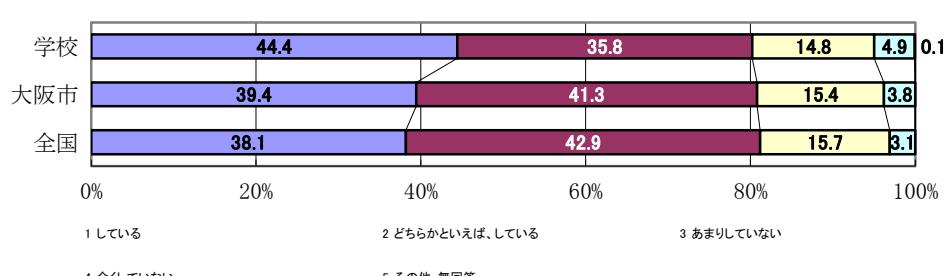
1

朝食を毎日食べている



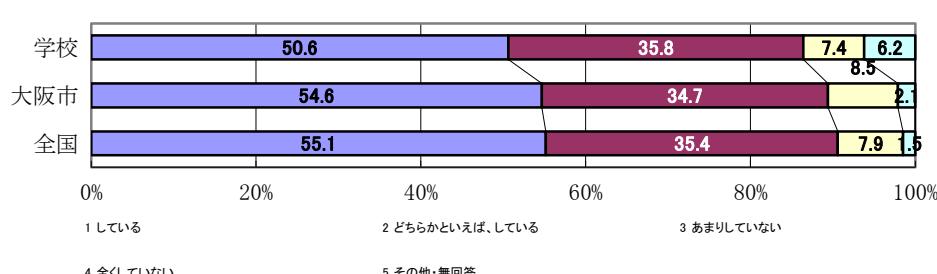
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ている



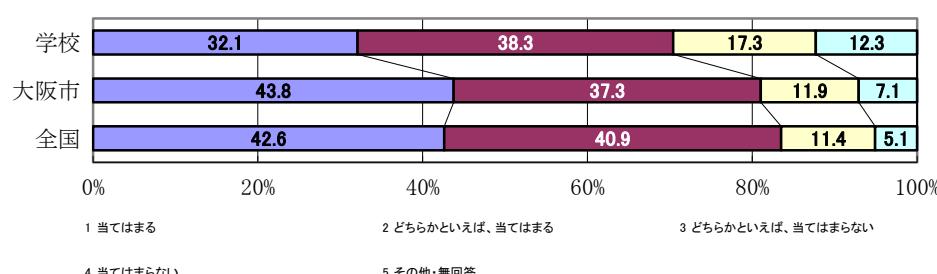
3

毎日、同じくらいの時刻に起きている



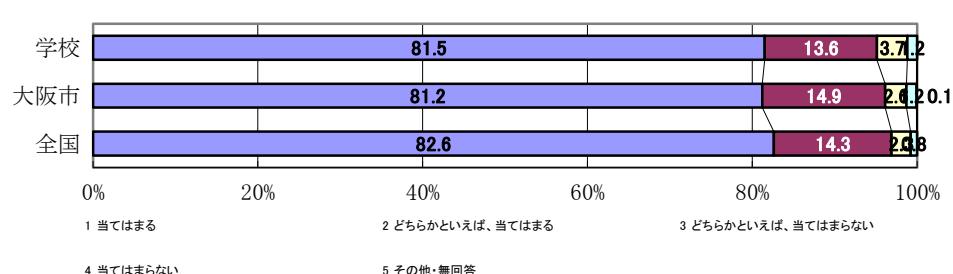
4

自分には、よいところがあると思う



9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思う



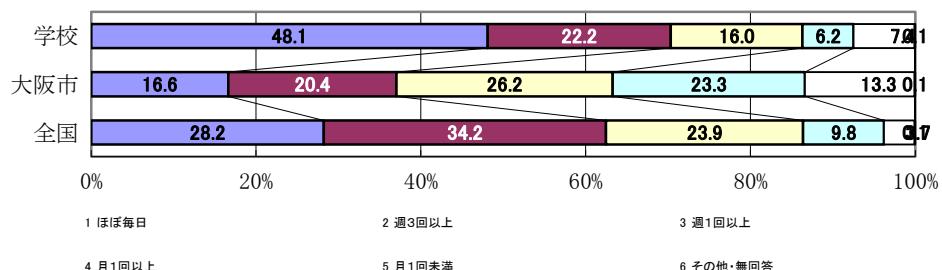
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

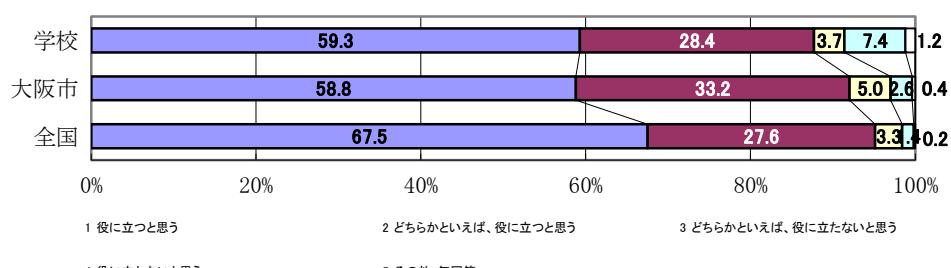
29

5年生までに受けた授業で、
PC・タブレットなどのICT機器
を、どの程度使用しましたか



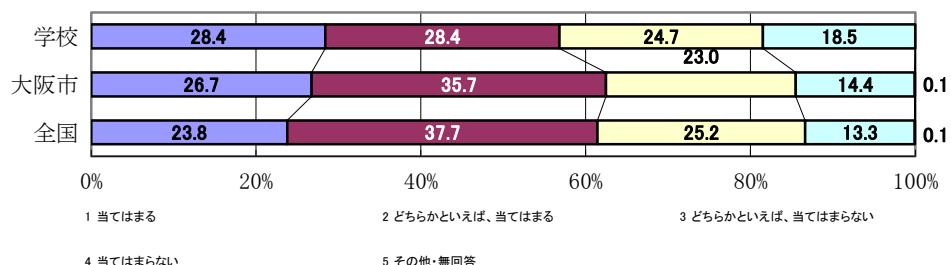
30

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



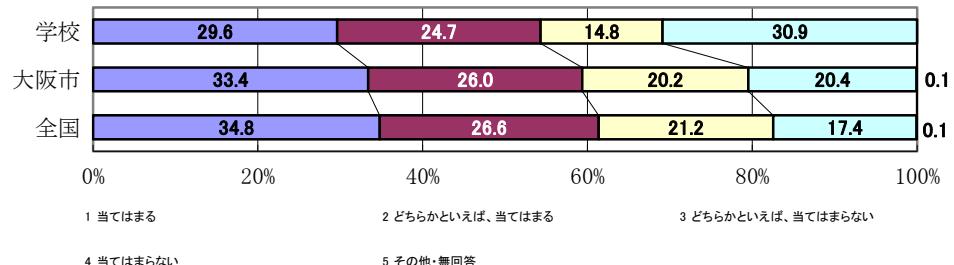
43

国語の勉強は好きだ



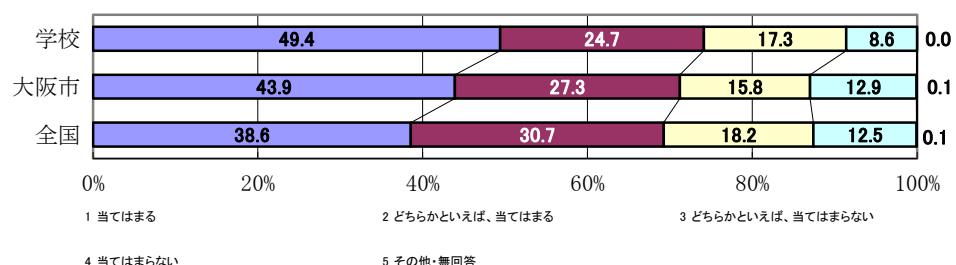
51

算数の勉強は好きだ



55

英語の勉強は好きだ



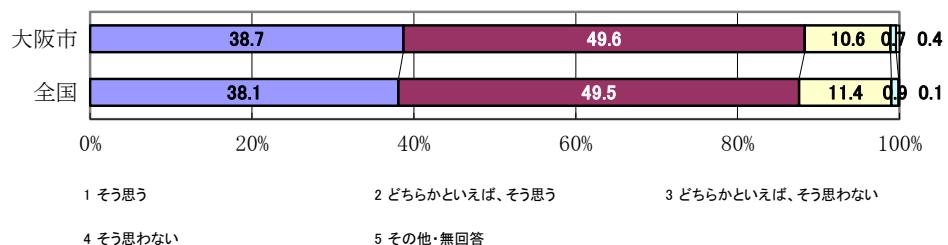
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
9

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

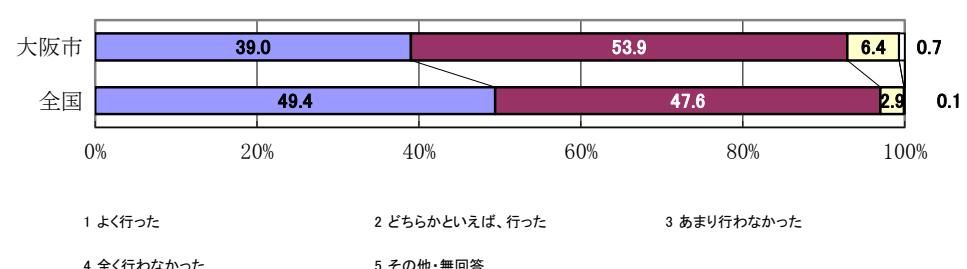
学校 「そう思う」を選択



質問番号
質問事項
12

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた

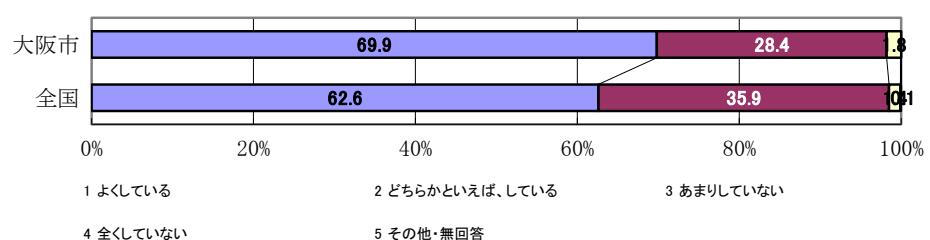
学校 「よく行った」を選択



質問番号
質問事項
22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

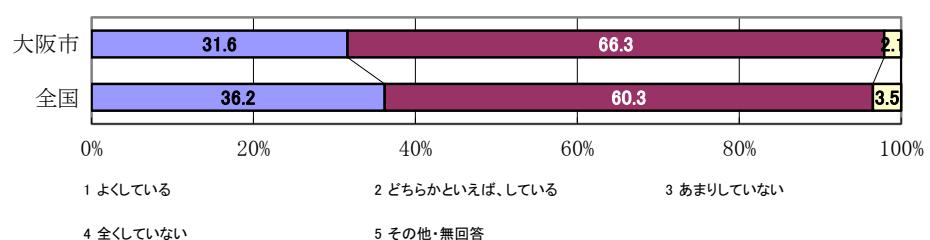
学校 「よくしている」を選択



質問番号
質問事項
40

調査対象学年の児童に対して、特別の教科道徳において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている

学校 「どちらかといえば、している」を選択



質問番号
質問事項
55

調査対象である第6学年の児童に対する、前年度までのICT機器の活用状況として、あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

